

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
696		有害鳥獣駆除事業	会計	01	一般会計
			款	06	農林業費
基本	42	持続的で个性的な農林業を実践する	項	02	林業費
策			目	02	林業振興費
10		有害鳥獣対策の推進	細目	102	有害鳥獣駆除事業
			細々目	01	有害鳥獣駆除事業
基本計画該当頁		161	行革大綱の重点事項番号		
担当部課	コード	553500	評価者氏名	北川 幹洋	連絡先
	名称	伊賀支所産業建設課			45 - 9119 (内線) 300

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	有害鳥獣被害に悩む農林業者。 (対象件数)	農林産物の被害が減少し、生産意欲を維持できる。
根拠法令・要綱等 伊賀市補助金等交付規則		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
本年度事業内容	サル捕獲実績は無し。 サル捕獲1頭当たり3万円	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
有害鳥獣駆除延べ人数	人	目標 実績 111	目標 実績 100 64	150	150
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
サル捕獲頭数	個体数の減少を目的とするため。	頭	目標 実績 0	目標 実績 3 0	3	3
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	サルによる畑作物の被害が深刻化している現状のなか、サルを捕獲することにより個体数を減らし被害の軽減を図るため必要である。
有効性	3	H18年度は報償実績は無いが、予算措置が出来れば個体数を大幅に減らすことが可能で被害が軽減されると考えられるので有効な制度である。
達成度	2	実績がないため達成度は低い。
効率性	3	支所間を越えた捕獲体制を検討することが必要であり、1頭あたりの報酬額も最低限である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
B	現状維持	H18年度は実績がなく、実績が出るような捕獲方法、体制等の整備が課題である。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
	委託	報償費		(千円) 0	報償費		(千円) 0	報償費		(千円) 90	報償費		(千円) 90	報償費		(千円) 90	報償費		(千円) 90
	工事																		
進捗率 (%)		事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)			事業費計(A)		
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440
フルコスト (A) + (B)		1,440			1,440			1,530			1,530			1,530			1,530		

事業費(人件費除)の財源内訳

(A) 事業費	0	0	90	90	90	90
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他					
	一般財源	0	0	90	90	90
	計	0	0	90	90	90
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					